

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成21年8月7日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	株式会社中京医薬品
【英訳名】	CHUKYOIYAKUHIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山田 正行
【本店の所在の場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【最寄りの連絡場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第32期 第1四半期 累計(会計)期間	第31期連結会計年度
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高(千円)	2,136,110	2,138,769	7,883,510
経常利益(千円)	158,744	160,712	302,056
四半期(当期)純利益(千円)	185,797	79,426	194,540
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	530,950	-
発行済株式総数(千株)	-	11,385	-
純資産額(千円)	2,293,611	2,289,069	2,235,496
総資産額(千円)	5,865,906	5,836,466	5,413,236
1株当たり純資産額(円)	227.09	226.66	221.35
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	18.40	7.86	19.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.1	39.2	41.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	133,006	114,060	63,003
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	69,908	12,835	66,755
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	68,880	34,917	79,434
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	957,124	842,435	731,115
従業員数(人)	667	692	677

- (注) 1. 当社は前事業年度に連結子会社2社の解散決議を行い当第1四半期に清算結了いたしております。よって当第1四半期累計(会計)期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。また前連結会計年度まで連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期累計(会計)期間及び前事業年度に代えて前第1四半期連結累計(会計)期間及び前連結会計年度について記載しております。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第31期第1四半期連結累計(会計)期間、第32期第1四半期累計(会計)期間及び第31期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間におきまして、連結子会社でありました株式会社ユナイテッドデザインは平成21年6月2日付で、また株式会社中京医薬品코리아は平成21年4月15日付で各々清算終了いたしております。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(人)	692	(97)
---------	-----	------

(注)従業員数は就業人員数であり、嘱託及び臨時雇用者数は、()外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社は、前事業年度において子会社の解散決議を行い当第1四半期会計期間に清算結了いたしておりますが、当第1四半期会計期間において事業活動は行っておりません。よって事業の状況においては前第1四半期会計期間は連結での状況のみ開示していたため、前年同期との比較は行っておりません。

(1) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)
売水事業部門(千円)	10,917	100.0	-

(注) 金額は、実際製造原価によっております。

(2) 仕入実績

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)
家庭医薬品等			
配置品等			
常備配置薬(千円)	56,021	6.9	-
保健品(千円)	169,833	20.8	-
ドリンク(千円)	173,133	21.2	-
小計(千円)	398,989	48.9	-
販売事業			
医療品(千円)	3,318	0.4	-
日用雑貨(千円)	57,911	7.1	-
生活流通・宝飾その他(千円)	309,629	37.9	-
計(千円)	769,848	94.3	-
売水事業部門(千円)	46,416	5.7	-
合計(千円)	816,265	100.0	-

(注) 金額は、仕入価格によっております。

(3) 販売実績

販売方法

当社は、主として営業員による一般家庭への配置・小売販売と同業他社への卸売販売を行っております。部門別の割合は、次の通りであります。

販売経路		構成比(%)
		当第1四半期会計期間
小売部門	[当社] [ユーザー]	80.3
卸売部門	[当社] [同業他社・一般流通市場] [ユーザー]	13.9
家庭医薬品等販売事業計		94.2
売水事業部門	[当社] [ユーザー]	5.1
保険事業部門その他	[保険会社] (手数料) [当社]	0.7
合計		100.0

地域別売上高

地域		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	本社	3,045	0.1	-
	中川営業所	28,103	1.3	-
	岡崎営業所	27,117	1.3	-
	日進営業所	18,556	0.9	-
	豊川営業所	20,094	0.9	-
	岩倉営業所	26,190	1.2	-
	知立営業所	30,505	1.4	-
	半田営業所	38,864	1.8	-
	津島営業所	18,670	0.9	-
	名古屋東営業所	30,668	1.4	-
	豊田営業所	33,368	1.6	-
	豊橋営業所	18,089	0.9	-
	一宮西営業所	25,412	1.2	-
	西尾営業所	17,137	0.8	-
	半田南営業所	17,535	0.8	-
	愛知県計	353,361	16.5	-
	高山営業所	45,455	2.1	-
	飛騨金山営業所	32,806	1.6	-
	可児営業所	28,331	1.3	-
	郡上八幡営業所	18,629	0.9	-
	中津川営業所	47,161	2.2	-
	岐阜東営業所	25,824	1.2	-
	大垣営業所	35,292	1.7	-
	土岐営業所	23,533	1.1	-
	飛騨古川営業所	26,300	1.2	-
	岐阜営業所	15,200	0.7	-
	岐阜県計	298,535	14.0	-

地域		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	松阪営業所	29,181	1.4	-
	四日市営業所	27,631	1.3	-
	津営業所	25,508	1.2	-
	鈴鹿営業所	23,479	1.1	-
	伊勢営業所	19,682	0.9	-
	桑名営業所	19,181	0.9	-
	伊賀上野営業所	21,151	1.0	-
	志摩営業所	18,049	0.8	-
	久居営業所	17,972	0.8	-
	尾鷲営業所	18,833	0.9	-
	三重県計	220,672	10.3	-
	都城営業所	18,860	0.9	-
	宮崎営業所	38,592	1.8	-
	串間営業所	13,817	0.6	-
	高鍋営業所	18,782	0.9	-
	延岡営業所	15,150	0.7	-
	小林営業所	11,012	0.5	-
	宮崎県計	116,216	5.4	-
	旭川営業所	19,101	0.9	-
	札幌東営業所	18,880	0.9	-
	北海道計	37,982	1.8	-
	八戸営業所	14,594	0.7	-
	青森県計	14,594	0.7	-
	仙台南営業所	29,704	1.4	-
	宮城県計	29,704	1.4	-
	宇都宮営業所	16,398	0.8	-
	栃木県計	16,398	0.8	-
	上越営業所	15,253	0.7	-
	新潟県計	15,253	0.7	-

地域		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	長野営業所	23,583	1.1	-
	松本営業所	26,904	1.2	-
	飯田営業所	12,349	0.6	-
	諏訪営業所	18,919	0.9	-
	伊那営業所	18,605	0.8	-
	中野営業所	18,636	0.9	-
	上田営業所	21,402	1.0	-
	大町営業所	16,229	0.8	-
	長野県計	156,631	7.3	-
	浜松営業所	37,089	1.7	-
	静岡営業所	11,141	0.5	-
	焼津営業所	12,436	0.6	-
	掛川営業所	19,266	0.9	-
	静岡県計	79,933	3.7	-
	米原営業所	19,349	0.9	-
	守山営業所	11,944	0.6	-
	近江営業所	11,667	0.5	-
	近江八幡営業所	6,099	0.3	-
	滋賀県計	49,060	2.3	-
	東広島営業所	22,932	1.1	-
	三次営業所	19,236	0.9	-
	尾道営業所	11,179	0.5	-
	広島県計	53,349	2.5	-
	坂出営業所	23,250	1.1	-
	三豊営業所	18,904	0.9	-
	高松営業所	20,283	0.9	-
	香川県計	62,439	2.9	-
	新居浜営業所	3,501	0.2	-
	愛媛県計	3,501	0.2	-
	福岡東営業所	17,482	0.8	-
	小倉営業所	24,457	1.1	-
	太宰府営業所	13,927	0.7	-
	行橋営業所	13,730	0.6	-
	八幡営業所	11,964	0.6	-
	宗像営業所	8,398	0.4	-
	福岡県計	89,960	4.2	-

地域		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	大分営業所	22,868	1.1	-
	大分南営業所	19,561	0.9	-
	中津営業所	13,756	0.6	-
	別府営業所	9,948	0.5	-
	日田営業所	12,010	0.6	-
	大分県計	78,144	3.7	-
	始良営業所	10,637	0.5	-
	鹿児島営業所	9,020	0.4	-
	鹿屋営業所	13,472	0.6	-
	鹿児島県計	33,130	1.5	-
	人吉営業所	8,301	0.4	-
	熊本営業所	-	-	-
	熊本県計	8,301	0.4	-
	計	1,717,171	80.3	-
卸売部門	愛知県他	298,302	13.9	-
売水事業部門	愛知県他	108,970	5.1	-
保険事業部門・ その他	愛知県	14,324	0.7	-
合計		2,138,769	100.0	-

(注) 当第1四半期会計期間において、熊本営業所を新設いたしました。

商品別売上高

事業の種類別セグメントの名称		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)
家 庭 医 薬 品 等 販 売 事 業	配置品等			
	常備配置薬(千円)	264,394	12.4	-
	保健品(千円)	877,494	41.0	-
	ドリンク(千円)	452,714	21.1	-
	小計(千円)	1,594,603	74.5	-
	医療品(千円)	15,765	0.7	-
	日用雑貨(千円)	119,134	5.6	-
	生活流通・宝飾その他(千円)	285,971	13.4	-
	計(千円)	2,015,474	94.2	-
	売水事業部門(千円)	108,970	5.1	-
保険事業部門その他(千円)	14,324	0.7	-	
合計(千円)	2,138,769	100.0	-	

主要顧客別販売実績

主要顧客(総販売実績に対する割合が10%以上)に該当するものではありません。

2【事業等のリスク】

当第1四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。なお、前第1四半期会計期間は四半期連結財務諸表を作成していましたが、前事業年度に連結子会社の解散決議をし、当第1四半期会計期間において清算結了いたしております。よって当第1四半期会計期間は四半期財務諸表を作成しており、前第1四半期会計期間との比較・分析は行ってありません。

(1) 業績の状況

当第1四半期会計期間における我が国の経済は、世界的な金融危機に端を發した不況の影響により、企業業績の悪化や個人消費の低迷が続いており、依然として先行き不透明な厳しい状態が続いております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指し、業績向上に努めるとともに、平成18年4月よりスタートした中期計画に基づいて積極的な営業政策を継続し、顧客数の拡大に取り組みながら経営基盤の強化にも取り組みました。当企業集団の中核事業であります家庭医薬品等販売事業においては、営業所の新規出店は熊本営業所の1店舗に抑制し、顧客満足度の充実を追及しながら一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組み、強固な財務基盤の構築に努めてまいりました。またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業は第2の柱とするべく今後の事業拡大に備え体制の整備に努めてまいりました。その結果第1四半期会計期間における事業別売上高は、家庭医薬品等販売事業においては2,015百万円、売水事業においては108百万円、保険事業その他においては14百万円となりました。

また、当第1四半期会計期間における売上高は2,138百万円、営業利益は154百万円、経常利益は160百万円、また四半期純利益は79百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における総資産は5,836百万円となり、前事業年度末に比べ409百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加180百万円、受取手形及び売掛金の増加157百万円によるものであります。

負債の部は3,547百万円となり、前事業年度末に比べ376百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加201百万円、長期借入金の増加175百万円によるものであります。

純資産の部は2,289百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加28百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の41.6%から39.2%となりました。

(3) キャッシュ・フロー及び、資本の源泉及び資金の流動性に係る情報

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、842百万円となりました。当第1四半期会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。なお、資金の源泉及び流動性に係る情報として追加して記載すべき事項はありません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は114百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益150百万円、仕入債務の増加額201百万円及び売上債権の増加額157百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は12百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出21百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は34百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入310百万円、短期借入金の純減少額120百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

1. 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に異動はありません。

2. 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の売却計画は次のとおりであります。

事業所名	所在地	事業の内容	設備の内容	当第1四半期 間末帳簿価額 (千円)	会計期 (千円)	売却予定年月
保養所	豪州・クイーンズランド州	本社管理部門	土地・建物	30,892		平成21年8月

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年8月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,385,734	11,385,734	株式会社ジャスダック 証券取引所	単元株式数100株
計	11,385,734	11,385,734	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	-	11,385	-	530,950	-	274,115

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,286,300	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普株株式 10,044,100	100,441	同上
単元未満株式	普通株式 55,334	-	-
発行済株式総数	11,385,734	-	-
総株主の議決権	-	100,441	-

【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社中京医薬品	愛知県半田市亀崎北浦町 2-15-1	1,286,300	-	1,286,300	11.29
計	-	1,286,300	-	1,286,300	11.29

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高(円)	200	211	260
最低(円)	178	188	203

(注) 最高・最低株価は、株式会社ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。
- (3) 前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は四半期財務諸表を作成していないため、前第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に代えて、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は前事業年度に連結子会社でありました株式会社ユナイテッドデザインと株式会社中京医薬品コリアの解散決議を行い当第1四半期において清算結了いたしておりますが、解散に伴う損失見込み額は前事業年度の当社単体決算に取り込んでおり、他に連結子会社も持分法を適用すべき関連会社もありませんので、当第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）については連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】
【当第1四半期会計期間末】

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,025,900
受取手形及び売掛金	743,154
商品及び製品	418,828
委託商品	577,664
仕掛品	69
原材料及び貯蔵品	16,139
その他	259,487
貸倒引当金	16,643
流動資産合計	3,024,600
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	502,943
土地	1,720,760
その他(純額)	21,822
有形固定資産合計	2,245,526
無形固定資産	29,727
投資その他の資産	
その他	584,414
貸倒引当金	47,801
投資その他の資産合計	536,612
固定資産合計	2,811,866
資産合計	5,836,466
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	746,716
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	366,046
1年内償還予定の社債	49,000
未払法人税等	71,028
賞与引当金	332,000
返品引当金	23,261
その他	489,268
流動負債合計	2,177,321

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末
(平成21年6月30日)

固定負債	
長期借入金	916,932
退職給付引当金	161,763
役員退職慰労引当金	287,820
その他	3,560
固定負債合計	1,370,075
負債合計	3,547,396
純資産の部	
株主資本	
資本金	530,950
資本剰余金	274,115
利益剰余金	2,029,017
自己株式	548,145
株主資本合計	2,285,936
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	3,132
評価・換算差額等合計	3,132
純資産合計	2,289,069
負債純資産合計	5,836,466

【前連結会計年度末】

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	870,167
受取手形及び売掛金	585,973
有価証券	385
商品及び製品	325,667
委託商品	558,628
仕掛品	69
原材料及び貯蔵品	11,285
その他	233,827
貸倒引当金	14,434
流動資産合計	2,571,569
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	509,693
土地	1,720,056
その他(純額)	14,514
有形固定資産合計	2,244,264
無形固定資産	
その他	28,894
無形固定資産合計	28,894
投資その他の資産	
その他	594,837
貸倒引当金	26,329
投資その他の資産合計	568,507
固定資産合計	2,841,666
資産合計	5,413,236

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	554,401
短期借入金	220,000
1年内返済予定の長期借入金	352,547
1年内償還予定の社債	49,000
未払法人税等	80,530
役員賞与引当金	17,325
役員退職慰労引当金	51,930
賞与引当金	226,000
返品引当金	16,701
その他	414,185
流動負債合計	1,982,621
固定負債	
長期借入金	741,667
退職給付引当金	166,360
役員退職慰労引当金	283,530
その他	3,560
固定負債合計	1,195,117
負債合計	3,177,739
純資産の部	
株主資本	
資本金	530,950
資本剰余金	274,115
利益剰余金	1,982,863
自己株式	548,135
株主資本合計	2,239,792
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	405
為替換算調整勘定	3,890
評価・換算差額等合計	4,295
純資産合計	2,235,496
負債純資産合計	5,413,236

(2)【四半期損益計算書】
【前第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,136,110
売上原価	710,377
売上総利益	1,425,733
販売費及び一般管理費	1,274,979
営業利益	150,753
営業外収益	
受取利息	252
受取配当金	1,269
受取家賃	5,434
その他	6,086
営業外収益合計	13,043
営業外費用	
支払利息	5,051
その他	1
営業外費用合計	5,053
経常利益	158,744
特別利益	
投資有価証券売却益	24,314
特別利益合計	24,314
特別損失	
減損損失	1,462
特別損失合計	1,462
税金等調整前四半期純利益	181,596
法人税、住民税及び事業税	123,539
法人税等調整額	127,740
法人税等合計	4,201
四半期純利益	185,797

【当第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,138,769
売上原価	693,010
売上総利益	1,445,758
販売費及び一般管理費	1,290,855
営業利益	154,903
営業外収益	
受取利息	153
受取配当金	319
受取家賃	5,408
その他	4,518
営業外収益合計	10,399
営業外費用	
支払利息	4,520
その他	69
営業外費用合計	4,589
経常利益	160,712
特別利益	
保険解約返戻金	1,613
特別利益合計	1,613
特別損失	
投資有価証券評価損	197
役員退職慰労金	10,700
その他	430
特別損失合計	11,327
税引前四半期純利益	150,998
法人税、住民税及び事業税	67,028
法人税等調整額	4,543
法人税等合計	71,572
四半期純利益	79,426

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】
【前第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	181,596
減価償却費	10,594
投資有価証券売却損益(は益)	24,314
減損損失	1,462
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,144
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,259
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,010
受取利息及び受取配当金	1,522
支払利息	5,051
為替差損益(は益)	1,762
売上債権の増減額(は増加)	201,293
たな卸資産の増減額(は増加)	58,218
仕入債務の増減額(は減少)	203,128
その他	125,619
小計	244,735
利息及び配当金の受取額	1,464
利息の支払額	6,673
法人税等の支払額	106,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	13,950
定期預金の払戻による収入	14,400
有形固定資産の取得による支出	5,505
投資有価証券の売却による収入	77,796
貸付金の回収による収入	240
その他	3,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000
長期借入金の返済による支出	93,630
自己株式の取得による支出	28
配当金の支払額	25,249
その他	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,913
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	131,120
現金及び現金同等物の期首残高	826,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	957,124

【当第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	150,998
減価償却費	10,797
貸倒引当金の増減額（は減少）	23,681
退職給付引当金の増減額（は減少）	4,597
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	47,640
受取利息及び受取配当金	472
支払利息	4,520
為替差損益（は益）	376
売上債権の増減額（は増加）	157,181
たな卸資産の増減額（は増加）	117,050
仕入債務の増減額（は減少）	201,870
その他	126,911
小計	191,461
利息及び配当金の受取額	427
利息の支払額	4,514
法人税等の支払額	73,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	13,350
定期預金の払戻による収入	18,937
有形固定資産の取得による支出	13,268
無形固定資産の取得による支出	2,380
投資有価証券の取得による支出	21,604
貸付金の回収による収入	240
関係会社の整理による収入	18,459
その他	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	120,000
長期借入れによる収入	310,000
長期借入金の返済による支出	104,576
自己株式の取得による支出	9
配当金の支払額	50,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	28
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	136,113
現金及び現金同等物の期首残高	706,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,435

【簡便な会計処理】

	当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
繰延税金資産の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測に当四半期会計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	
1.有形固定資産の減価償却累計額	752,137千円
2.保証債務	
下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。	
保証先	保証金額
株式会社岩手中京医薬品	9,898千円

前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1.有形固定資産の減価償却累計額	742,887千円
2.保証債務	
下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。	
保証先	保証金額
株式会社岩手中京医薬品	12,172千円

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料・手当	588,281千円
貸倒引当金繰入額	3,136
役員退職慰労引当金繰入額	4,440
賞与引当金繰入額	118,196
退職給付費用	11,902

当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料及び手当	621,156千円
貸倒引当金繰入額	24,295
役員退職慰労引当金繰入額	4,310
賞与引当金繰入額	106,000
退職給付費用	11,592

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	
	(千円)
現金及び預金勘定	1,094,609
投資その他の資産の「その他」に計 上されている長期性預金	50,000
預入期間が3か月を超える定期預金	187,485
現金及び現金同等物	<u>957,124</u>

当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)	
	(千円)
現金及び預金勘定	1,025,900
預入期間が3か月を超える定期預金	183,464
現金及び現金同等物	<u>842,435</u>

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 11,385,734株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 1,286,434株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月23日 定時株主総会	普通株式	50,496	5.0	平成21年3月31日	平成21年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当企業集団の事業は家庭医薬品等販売事業、売水事業、環境事業、保険事業・その他の4つのセグメントから構成されています。当企業集団の家庭医薬品等販売事業は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の合計の10%未満のため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの
該当事項はありません。

2. その他有価証券で時価のあるもの

事業の運営において重要なもので、かつ、前事業年度末日から著しい変動が認められるものは該当ありませんので、記載していません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)

当社は、金利スワップ取引を利用しておりますが、ヘッジ会計を適用しておりますので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	
1株当たり純資産額	226.66円

前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	221.35円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	18.40円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(千円)	185,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	185,797
期中平均株式数(千株)	10,099

当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	7.86円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期純利益(千円)	79,426
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	79,426
期中平均株式数(千株)	10,099

(重要な後発事象)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っておりますが、取引残高が前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため記載しておりません。

2【その他】

当社は、平成20年5月2日名古屋地方裁判所半田支部受付で株式会社ケー・ネット・コムより中古機械の販売に伴う売買代金の返還を求める訴訟の提起を受けております。

また、平成20年10月8日甲府地方裁判所受付で上記に関連して中古機械の購入に対する株式会社ケー・ネット・コムへの融資について当社にその返還を求める訴訟の提起を金融機関より受けております。

上記の2件の訴訟に関しましては、勝訴するものと判断しており、今後の影響はないものと考えております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月7日

株式会社中京医薬品
取締役会御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嗣平 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木造 眞博 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 清光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中京医薬品の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中京医薬品及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

追加情報に記載されているとおり、会社は、平成20年6月26日開催の取締役会決議に基づき、同日付で固定資産の譲渡契約を締結している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月6日

株式会社中京医薬品
取締役会御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嗣 平 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 造 眞 博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中京医薬品の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第32期事業年度の第1四半期会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中京医薬品の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。